



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和4年度学校だより
No.8 9月号
令和4年9月1日(木)

今を変えれば未来が変わる

気持ち新たに!!

今日は九月一日です。42日間の夏休みも終わりました。今年の夏はとも暑い日が多く、室内にいてもモワッと熱気が立ち込める、そんな日が続ききました。前渡小のみなさんは体調を崩すこともなく、元気に過ごすことができたでしょうか。

さて、今日から学校生活が始まりました。まずは何といても生活の柱を見直しましょう。ここは学校、家ではありません。多くの人が集う場です。長い休みの間、家ではゆったりとした気持ちで過ごしていたとしても、学校では気を引きしめ直してください。時間と空間とそれから仲間に気を配って、はじめと節度のある学校生活を送りましょう。とにかくこの「三つの間」が肝心です。

話は変わりますが、今日から12月の最終登校日までに、77日の登校日を予定しています。この間には、1年生から6年生まで、すべての学年で遠足や宿泊学習を予定しています。最初に校外に足を運ぶのは、今月29日の1年生です。1年生をはじめ、各学年のみなさんは、どこへ行くのかも知っているのでしょうか。とても楽しみです。それぞれの学年で、仲間とともに普段とは異なる空間で、心に残る思い出の一つでも多く作ってほしいと思っています。

この他に、全員が実施する学校行事、主なものとしては、わくわくフェスティバルと持久走大会があります。昨年度は、コロナ禍でできなかったわくわくフェスティバルが開催できることを、楽しみに待っている人が何人もいます。今年はやるのかどうかを知りたくて、校長室まで直々に尋ねにきた小学生もいました。みんなの前で是非発表したいという思いがあることも分かりました。ただし、今年のフェスティバルは、開催内容、運営の仕方が異なります。この機会に発表できるかどうかは何とも言えませんが、いずれかの場面で表現する機会を与えられればと考えています。

持久走大会は、誰しもがただひたすらにゴールを目指して走る競技です。高学年になると何度も経験しているので、楽しみにしている人もいれば、そうでない人もいるかもしれません。大切にしてほしいことは、当日の順位よりも、毎日の練習を通して少しでも成長することです。去年より速く、そして早く走ればたいしたもの。お家の方もみんなの一生懸命な姿を見ることを楽しみにしています。大会会場も市民総合運動公園と聞いています。普段とは少し異なる空間で、気分を変えてその日を迎えるようにしましょう。まだ先のことですが、すぐにその時はやってきます。

いくつか話を書きましたが、前渡小のみなさん、毎日、その日1日を楽しく過ごすとともに、今日、明日、明後日、来週、来月…には何があるのか…、と見通しと希望をもって生活してください。みんながさらに、スクスク、グングンと成長することを祈っています。

本日より、お友達が一人増えます。今日から前渡小は全校児童数790人になります。何年生に転入生が来たのか興味のある人は、担任の先生に聞いてください。何にしても学校が変わると、生活に慣れるまでには緊張することもあると思います。特に同じ学級のみんなは、どんどん声をかけてあげてください。早く、前渡小学校の生活に馴染めるといいですね。



今年の夏休み、登校日はないので、学童に通っていたり、少年団などに入っていたりしない、ほとんど学校に来ることのない小学生も多かったことと思います。本校では特に学校行事も休み中にはありませんでしたが、8月4日、那珂湊において、市主催の「令和4年度児童・生徒会交流会『笑顔サミット』」が開催されました。本校からは6年生2名が代表で参加しました。

二人とも知らない小学生に囲まれて、最初は緊張した面持ちでしたが、発表の機会を重ねるにつれ、次第に場の空気にも慣れ、普段の明るさと元気のよさ、そして積極性を発揮することができました。他校の校長先生からも「とても利発なお二人ですね。」とお褒めの言葉をいただきました。二人は意見を交換することで、自校の参考になる話を聞くことができ、また、コミュニケーションをとることの楽しさや大切さに気づくことができたようです。

この写真は交流会の終了後に撮影したものです。当日の様子はHPの学校日記にも掲載しましたので、そちらも御覧いただければと思います。

令和四年度 全国学力・学習状況調査の結果について

去る7月28日に今年度の結果発表がありました。文部科学省のHPなどに掲載されている内容ですが、質問紙の調査結果から、知っておいた方がよいと思う内容について御紹介します。

- 児童(小学生)生徒(中学生)ともに、1日あたりのゲームの時間が長いほど、各教科の平均正答率が低い傾向がみられる。
- 児童生徒ともに、1日当たりのSNSや動画視聴などを行う時間が長いほど、各教科の平均正答率が低い傾向がみられる。

ここに書かれていることは、あくまでも全国的な傾向ですが、母数が97万8千人を超える児童を対象とした調査なので、気にしておくべきことと思います。

それから、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」の問いに対して

- 「きちんと守っている」 39.4%
- 「だいたい守っている」 32.1%

と答えています。合わせて71.5%の児童が肯定的な回答でした。

なお、各教科等の本校の主な結果の概要については、次号の10月号で紹介させていただきます。

今後の学校における新型コロナVirusへの対応について

8月26日付けで、ひたちなか市の新たな学級閉鎖及び検査対応について通知がありましたので、お知らせします。

【変更後】	【変更前】
学級内での感染拡大が懸念される場合	学級内にて感染者が1名発生した場合
上記の【変更後】に該当する場合は、検査を実施し、陰性を確認できた者は登校再開とする。	

【変更後】の「学級内での感染拡大が懸念される場合」とは、

- ①学級内にて感染者が複数発生した場合
- ②未診断の風邪等の症状を有する者が複数発生した場合
- ③学級内に濃厚接触者が存在する場合

等とのことです。

なお、感染者が複数発生した場合でも、それぞれ児童の感染経路に関連がない場合(例:感染者のそれぞれが家庭内感染の場合など)には、「学級内で感染しているとは見なさない」とのことです。

ちなみに、本校で夏休み中に感染したと報告があったのは、全部で43件でした。今年度初めから通算では、102件になりました。



前小(裏)通信

生活の柱 : 時間と空間それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に

Key Word : 間が大事 笑顔さわやか ワクワクと 宝は仲間 理想に向かって

この9月号の学校だよりを書くのは夏休み中です。児童の登校がないので記事にする内容も少なく、今回は「裏」通信はなしだろうと思っていました。しかしながら蓋を開けてみると、何かしら書き残しておきたいことがいつの間にか集まってきました。嬉しいことに、もし載せてほしい記事がある場合は、8月25日までに提出するようにお願いしておいたところ、5年生から記事の提供がありました。以下、原文のまま掲載します。

「Let's go! 白浜少年自然の家」



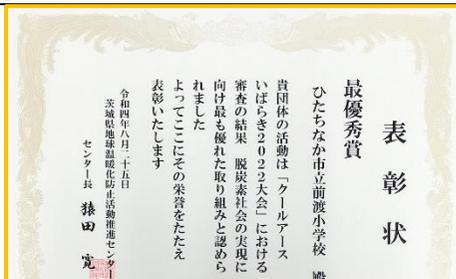
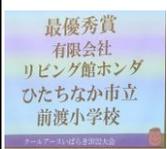
8月1日に、チーム☆5年生で「茨城県立白浜少年自然の家」まで出張に行きました。内容は…11月のビッグイベントである「宿泊学習」に向けた勉強会です。

午前中のメインは野外炊飯活動です。火を起こしたり、ご飯を飯盒で炊いたり、野菜を切って炒めたり…35℃をこえる猛暑でしたが、暑さに負けずおいしいカレー作りをしました。(宿泊学習当日は、5年生のみんながチームで役割を分担して協力しながらチャレンジするよ！)

午後は、野外活動の体験です。「ウォークラリー」「アウトドアビンゴ」「ミニオリエンテーリング」「インドアビンゴ」など、白浜少年自然の家の敷地内や周辺の地域を散策しながら、ビンゴゲームやクイズラリーに挑戦です。どれも自然や生き物、地形などと関連しているとてもおもしろい内容です。体力だけでなく頭脳もたくさん使うので、「5年生のみんなと活動したら大盛り上がりになりそうだなあ。」と、ワクワクしながら活動しました！

9月から少しずつ宿泊学習に向けて準備が始まります。この行事が、5年生のみんなにとってかけがえのない「宝物」になるように、みんなと先生たちとで「心」と「力」を合わせて活動していこうね！

これらの写真に関する記事はこの右に



笑顔サミットに参加した二人の感想から

交流会に参加して、前渡小学校で実施したいと思える意見が見つかりました。

人の良いところを見つけられる意見や、いじめを防止するためのキャラクター作りなど、「生活の中でのいじ悪、悪口、仲間外れを無くすためにはどうするか」について話し合うことができました。

交流会に参加して、他校の人と話すことができ、学びを得ることができました。



感じたことがたくさんあります。とても緊張したけど意見交換がしっかりとできたこと、他の各学校でもいじめをなくすために色々な取組をしていることを知れてよかったです。とても貴重な体験ができて感謝しています。残り半年となりますが、これから前渡小学校のみんなが



より良い学校生活を送れるお手伝いができるよう、代表委員の仕事に全力で取り組んでいきます。

8月19日の空模様 ?



空模様という言葉は適切ではありませんが、当日の日直の先生が水やりの際に、外から「空にニコちゃんマークが見えます」と教えてくれました。いわゆる飛行機雲です。瞬く間に少しずつ消え去っていきようとしていました。写真を撮り終えて部屋に戻るやいなや、また外へ来るように呼び出されます。先ほどは南東の空に見えた雲が、今度は西南西の方向に見えました。その時の情報によると、上空3,000mとのことです。知らない方のとても粋な計らいでしたが、偶然にも見届けることができました。

写真ではありませんが、前渡小の校庭から見えたものなので、皆様に御紹介致したく、ここに掲載しました。

ほたるの森 続報

ほたるの森には夏休みに入る前から、日が暮れてから何度か足を運びました。時間帯が悪かったのか、気象条件が良くなかったのか、はたまた観察眼がなかったのか分かりませんが、中々ホタルの光を見ることはできませんでした。そんなある日、7月20日のことです。前日の19日の夜にホタルの光を見たという情報が届きました。そこで早速20日の夜7時半過ぎにほたるの森に足を運びました。その場で二組の御家族と、もうお一方も来ていました。全部で八人ほどだったでしょうか。坂を下った辺りから奥の方まで所々立ち止まって、目を見ひらいて探しましたが、なかなか見つかりません。今日も見られないのかと思っていたところ、「あっ、ホタルだ」の声が聞こえてきました。声のする方へ行って目を凝らして見ると、確かにうっすらとした光を見つけることができました。ここにも、そこにも、あそこにも…といった感じで5~6個の灯りを見つけてことができました。その大きさはまち針のお尻くらいの大きさです。「ほのかな光」というよりは「ほんのりと光る」という形容がふさわしいような、かすかな瞬きでした。

この日の他にもう一度訪れた8月8日にも、幸いにも見る事ができました。この日は十匹以上、さらに前回よりも広範囲にわたって確認することができました。

ホタルの写真撮影を試みましたが、夜は光量が足りずかきませんでした。そこで昼間に何度か足を運びましたが、いくら葉の裏を探しても、とうとう生きたホタルの写真を今年は撮れませんでした。ですが、その際にほたるの森で撮影できた生物の写真を載せます。



① 保護者の皆様、お子様とぜひ一度 ほたるの森に足をお運びください。

ほたるの森については、もう一つお話があります。

学校ビオトープ大賞を受賞したことで、その記事がまず茨城新聞に掲載され、また、市長への表敬訪問へと発展しました。さらには、「ひたちなか市をこよなく愛する方」から話が先へとつながり、県の教育長の表敬訪問を果たしました。これが7月31日付の茨城新聞「吐玉泉」に掲載されました。このことが「茨城県をこよなく愛する方」からお話をいただくことへとつながり、本校のほたるの森は「クールアースいばらき 2022 大会」へと参加をさせていただくこととなりました。

…さて、その結果ですが、何と栄えある『最優秀賞』を受賞しました。

この大会が始まって初めて、2団体が同点で最優秀賞を受賞することとなりました。審査員は数十人もいる大会です。いやいや なんと なんと 驚きました。このお話をいただいたときには、多くの人の長年にわたる御協力によって学校ビオトープ日本一になれたのですから、少しでもその御好意に沿うことができたらという想いで参加をしたところ、この素晴らしい結果をいただくことができました。本当にありがたいことです。人とのつながり — 仲間 — のおかげで、そして行動にうつったことで、前渡小に、さらに光が降り注ぐこととなりました。

あと少し、どうしてもここに書き記しておきたいことがあります。それは、今回の受賞にあたっては、ここ二十年以上にわたって本校を支えてくださっている、地域の「砂押園芸さん」の多大なるお力添えがあって、今回の受賞に至ったという事です。改めてこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

もう一つ話があります。本校は今回の最優秀賞の受賞を受けて、次なるステップ、**全国大会へと歩を進める**こととなりましたので、ここに紹介いたします。詳しい話は全国大会の後にさせていただきます。(賞状の写真はこの右に)